

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第3部門第3区分
 【発行日】平成25年1月24日(2013.1.24)

【公表番号】特表2003-505561(P2003-505561A)

【公表日】平成15年2月12日(2003.2.12)

【出願番号】特願2001-512576(P2001-512576)

【国際特許分類】

C 0 8 F 20/00 (2006.01)

C 0 8 F 12/04 (2006.01)

C 0 8 F 16/12 (2006.01)

C 0 8 F 18/02 (2006.01)

C 0 8 F 22/00 (2006.01)

C 0 8 G 73/10 (2006.01)

C 0 8 G 77/04 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 F 20/00

C 0 8 F 12/04

C 0 8 F 16/12

C 0 8 F 18/02

C 0 8 F 22/00

C 0 8 G 73/10

C 0 8 G 77/04

【誤訳訂正書】

【提出日】平成24年11月27日(2012.11.27)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】特許請求の範囲

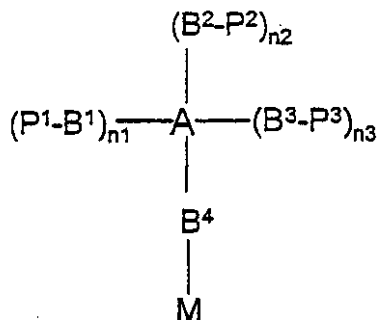
【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 下記の式(1)の繰返し単位を含むポリマー化合物：

【化1】



I

[式中、Aは、窒素原子；炭素原子；基 -CR¹-；またはフッ素、塩素、シアノ、および1個のシアノ基または1個以上のハロゲン原子によって必要に応じて置換されていてもよく且つ1個以上の非隣接アルキル-CH₂-基が-O-、-CO-、-CO-O-、-O-CO-、-Si(CH₃)₂-O-Si(CH₃)₂-、-NR¹-、-NR¹-CO-、-CO-NR¹-、-NR¹-CO-O-、-O-CO-NR¹-、-NR¹-CO-NR¹-、-CH=CH-、-C

C-および-O-CO-O-（式中、 R^1 は水素原子または1~6個の炭素原子を有するアルキルである）から選ばれた基によって必要に応じて置換されていてもよい C_{1-18} の環状、直鎖または枝分れアルキル基から選ばれた基によって必要に応じて置換されていてもよい芳香族または脂環式基を示し；

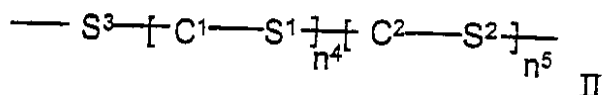
Mは、繰返しモノマー単位を示し；

$n^1 \sim n^3$ は、それぞれ個々に、0または1~3の値を有する整数であり、但し、 $1 < n^1 + n^2 + n^3 < 4$ であり；

P^1 、 P^2 、 P^3 は、それぞれ個々に、光反応性基を示し；

$B^1 \sim B^4$ は、それぞれ個々に、下記の一般式IIの残基；

【化2】



（式中、 $S^1 \sim S^3$ は、それぞれ個々に、1個のシアノ基または1個以上のハロゲン原子によって必要に応じて置換されていてもよく且つ1個以上の非隣接アルキレン- CH_2 -基が-O-、-CO-、-CO-O-、-O-CO-、 $-\text{Si}(\text{CH}_3)_2\text{-O-Si}(\text{CH}_3)_2\text{-}$ 、 $-\text{NR}^1\text{-}$ 、 $-\text{NR}^1\text{-CO-}$ 、 $-\text{CO-NR}^1\text{-}$ 、 $-\text{NR}^1\text{-CO-O-}$ 、 $-\text{O-CO-NR}^1\text{-}$ 、 $-\text{NR}^1\text{-CO-NR}^1\text{-}$ 、 $-\text{CH=CH-}$ 、 $-\text{C} \quad \text{C}$ -および-O-CO-O-（式中、 R^1 は上記で定義したとおりである）から選ばれた基によって必要に応じて置換されていてもよい C_{1-24} の直鎖または枝分れアルキレン基から選ばれた単結合またはスペーサー基を示し；

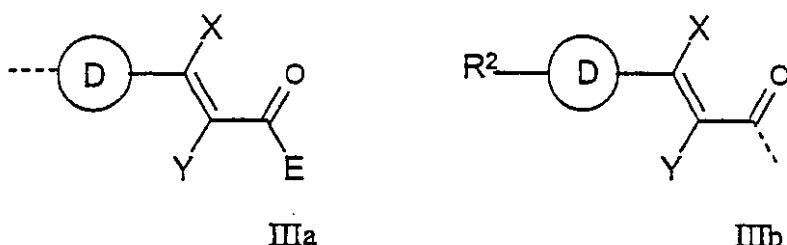
C^1 および C^2 は、それぞれ個々に、フッ素、塩素、シアノ、または1個のシアノ基または1個以上のハロゲン原子によって必要に応じて置換されていてもよく且つ1個以上の非隣接アルキル- CH_2 -基が-O-、-CO-、-CO-O-、-O-CO-、 $-\text{Si}(\text{CH}_3)_2\text{-O-Si}(\text{CH}_3)_2\text{-}$ 、 $-\text{NR}^1\text{-}$ 、 $-\text{NR}^1\text{-CO-O-}$ 、 $-\text{CO-NR}^1\text{-}$ 、 $-\text{NR}^1\text{-CO-O-}$ 、 $-\text{O-CO-NR}^1\text{-}$ 、 $-\text{NR}^1\text{-CO-NR}^1\text{-}$ 、 $-\text{CH=CH-}$ 、 $-\text{C} \quad \text{C}$ -および-O-CO-O-（式中、 R^1 は水素原子または1~6個の炭素原子を有するアルキルである）から選ばれた基によって必要に応じて置換されていてもよい C_{1-18} の環状、直鎖または枝分れアルキル基から選ばれた基によって必要に応じて置換されていてもよい芳香族または脂環式基を示し；

n^4 および n^5 は、それぞれ個々に、0または1である）

を示し、

前記基 $P^1 \sim P^3$ が、下記の一般式IIIaおよびIIIb；

【化3】



（式中、破線は、 S^3 に対する結合点を示し；

Dは、ピリミジン-2,5-ジイル、ピリジン-2,5-ジイル、2,5-チオフェニレン、2,5-フラニレン、1,4-または2,6-ナフチレン；フッ素、塩素、シアノ、または1個のシアノ基または1個以上のハロゲン原子によって必要に応じて置換されていてもよく且つ1個以上の非隣接アルキル- CH_2 -基が-O-、-CO-、-CO-O-、-O-CO-、 $-\text{Si}(\text{CH}_3)_2\text{-O-Si}(\text{CH}_3)_2\text{-}$ 、 $-\text{NR}^1\text{-}$ 、 $-\text{NR}^1\text{-CO-}$ 、 $-\text{CO-NR}^1\text{-}$ 、 $-\text{NR}^1\text{-CO-O-}$ 、 $-\text{O-CO-NR}^1\text{-}$ 、 $-\text{NR}^1\text{-CO-NR}^1\text{-}$ 、 $-\text{CH=CH-}$ 、 $-\text{C} \quad \text{C}$ -および-O-CO-O-（式中、 R^1 は前記で定義したとおりである）から選ばれた基によって必要に応じて置換されていてもよい C_{1-18} の環状、直鎖または枝分れアルキル残基から選ばれた基によ

て必要に応じて置換されていてもよいフェニレン基を示し；

Eは、 $-OR^3$ 、 $-NR^4R^5$ または環Dと一緒にクマリン単位を形成する酸素原子を示し、 R^3 、 R^4 および R^5 は、水素、および1個以上のハロゲン原子によって必要に応じて置換されていてもよく且つ1個以上の非隣接アルキル- CH_2 -基が-O-、-CO-、-CO-O-、-O-CO-および-CH=CH-から選ばれた基によって必要に応じて置換されていてもよい C_{1-18} の環状、直鎖または枝分れアルキル残基から選ばれ、或いは R^4 と R^5 は、一緒になって C_{5-8} 脂環式環を形成し；

X、Yは、それぞれ個々に、水素、フッ素、塩素、シアノ、またはフッ素によって必要に応じて置換されていてもよく且つ1個以上の非隣接アルキル- CH_2 -基が-O-、-CO-O-、-O-CO-および-CH=CH-から選ばれた基によって必要に応じて置換されていてもよい C_{1-12} のアルキル基を示し；

R^2 は、水素、または1個のシアノ基または1個以上のハロゲン原子によって必要に応じて置換されていてもよく且つ1個以上の非隣接アルキル- CH_2 -基が-O-、-CO-、-CO-O-、-O-CO-、 $-Si(CH_3)_2-O-Si(CH_3)_2-$ 、 $-NR^1-$ 、 $-NR^1-CO-$ 、 $-CO-NR^1-$ 、 $-NR^1-CO-O-$ 、 $-O-CO-NR^1-$ 、 $-NR^1-CO-NR^1-$ 、 $-CH=CH-$ 、 $-C=C-$ および-O-CO-O-（式中、 R^1 は前記で定義したとおりである）から選ばれた基によって必要に応じて個々に置換されていてもよい C_{1-18} の直鎖または枝分れアルキル基を示す）から選ばれる}。

【請求項2】 式(1)の繰返し単位が、モノマー構成ブロックを少なくとも50%含む請求の範囲第1項記載のポリマー化合物。

【請求項3】 基Mが、アクリレート；メタクリレート；2-クロロアクリレート；2-フェニルアクリレート；窒素原子が1~6個の炭素原子を有するアルキル基によって必要に応じて置換されていてもよいアクリルアミド、メタクリルアミド、2-クロロアクリルアミドおよび2-フェニルアクリルアミド；ビニルエーテル；ビニルエステル；スチレン誘導体；シロキサン；イミド；アミド酸；アミド酸エステル；アミドイミド；マレイン酸誘導体；およびフマル酸誘導体から選ばれる請求の範囲第1項~第2項のいずれか1項記載のポリマー化合物。

【請求項4】 請求の範囲第1項に記載の式(1)の繰返し単位の1個以上を重合させることを特徴とする、ポリマー化合物の製造方法。

【請求項5】 架橋形の請求の範囲第1項に記載のポリマー化合物を含むポリマー層。

【請求項6】 光学または光電装置用の配向層である請求の範囲第5項記載のポリマー層。

【請求項7】 光学または光電装置の製造における請求の範囲第1項~第3項のいずれか1項記載のポリマー化合物の使用。

【請求項8】 請求の範囲第1項~第3項のいずれか1項記載のポリマー化合物を含む光学または光電装置。

【請求項9】 請求の範囲第5項または第6項記載の層を含む光学または光電装置。

【請求項10】 ポリ-[1-[11-[5-[4-[(E)-2-メトキシカルボニルビニル]ベンゾイロキシ]-2-[6-[2-メトキシ-(E)-4-(メトキシカルボニルビニル)フェノキシ]オキシヘキシル]ベンゾイロキシ]ウンデシロキシカルボニル]-1-メチルエチレン]である、請求の範囲第1項に記載の式(1)の繰返し単位を含むポリマー化合物。

【請求項11】 ポリ-[1-[11-[(E,E)-2,5-ジ-[6-[2-メトキシ-4-(メトキシカルボニルビニル)フェノキシ]オキシヘキシル]ベンゾイロキシ]ウンデシロキシカルボニル]-1-メチルエチレン]である、請求の範囲第1項に記載の式(1)の繰返し単位を含むポリマー化合物。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0009

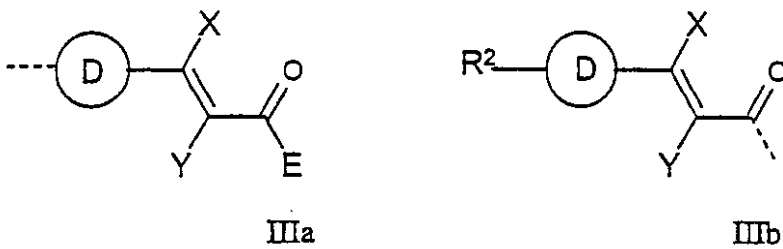
【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0009】

基 P^1 、 P^2 および P^3 は、UVまたはレーザー光に露光させたとき光異性化または光二量体化できる。基 $P^1 \sim P^3$ は、好ましくは、光環状化反応を受ける。基 $P^1 \sim P^3$ は、好ましくは、下記の一般式IIIaおよびIIIbによって示される：

【化6】



(式中、破線は、 S^3 に対する結合点を示し；

Dは、ピリミジン-2,5-ジイル、ピリジン-2,5-ジイル、2,5-チオフェニレン、2,5-フラニレン、1,4-または2,6-ナフチレン；フッ素、塩素、シアノ、または1個のシアノ基または1個以上のハロゲン原子によって必要に応じて置換されているもよく且つ1個以上の非隣接アルキル- CH_2 -基が-O-、-CO-、-CO-O-、-O-CO-、-Si(CH₃)₂-O-Si(CH₃)₂-、-NR¹-、-NR¹-CO-、-CO-NR¹-、-NR¹-CO-O-、-O-CO-NR¹-、-NR¹-CO-NR¹-、-CH=CH-、-C C-および-O-CO-O-（式中、R¹は前記で定義したとおりである）から選ばれた基によって必要に応じて置換されているもよいC₁₋₁₈の環状、直鎖または枝分れアルキル残基から選ばれた基によって必要に応じて置換されているもよいフェニレン基を示し；

Eは、-OR³、-NR⁴R⁵または環Dと一緒にクマリン単位を形成する酸素原子を示し、R³、R⁴およびR⁵は、水素、および1個以上のハロゲン原子によって必要に応じて置換されているもよく且つ1個以上の非隣接アルキル- CH_2 -基が-O-、-CO-、-CO-O-、-O-CO-および-CH=CH-から選ばれた基によって必要に応じて置換されているもよいC₁₋₁₈の環状、直鎖または枝分れアルキル残基から選ばれ、或いはR⁴とR⁵は、一緒になってC₅₋₈脂環式環を形成し；

X、Yは、それぞれ個々に、水素、フッ素、塩素、シアノ、またはフッ素によって必要に応じて置換されているもよく且つ1個以上の非隣接アルキル- CH_2 -基が-O-、-CO-O-、-O-CO-および-CH=CH-から選ばれた基によって必要に応じて置換されているもよいC₁₋₁₂のアルキル基を示し；

R²は、水素、または1個のシアノ基または1個以上のハロゲン原子によって必要に応じて置換されているもよく且つ1個以上の非隣接アルキル- CH_2 -基が-O-、-CO-、-CO-O-、-O-CO-、-Si(CH₃)₂-O-Si(CH₃)₂-、-NR¹-、-NR¹-CO-、-CO-NR¹-、-NR¹-CO-O-、-O-CO-NR¹-、-NR¹-CO-NR¹-、-CH=CH-、-C C-および-O-CO-O-（式中、R¹は前記で定義したとおりである）から選ばれた基によって必要に応じて個々に置換されているもよいC₁₋₁₈の直鎖または枝分れアルキル残基を示す）。